

論点

看護研究はするな!

北浦暁子

多くの施設でなかば義務として行なわれている看護研究。しかし、日常業務ですら手一杯の状況のなか、無理してまで行なう必要はあるでしょうか。看護コンサルタントの北浦暁子氏が「看護研究はしない」という選択からみえてくる可能性について論じます。

特別記事

看護の立場から CPC に取り組むと どうなるか

東京通信病院発 N-CPC プロジェクト・チーム

調査研究

日本における法看護教育の検討

山田典子, 米山奈奈子, 宮本真己, 山本春江, リボヴィッツよし子

解説

心血管リスクとしての CKD

筒井裕之

編・集・後・記

●「五感」のなかでも人間は視覚優位であり、とくに現代人は視覚に頼りすぎて他の感覚が鈍っていると言われます。今月の特集は「触れる」。触れないよりは、触れたほうがいいのは確かですが、触れる習慣のない人にいきなり「触れ」といってもなかなかむずかしいかもしれません。それに、同じ「触れる」にしても上手な触れ方、きもちいい触れ方があるのではないのでしょうか。執筆者の皆さんにこのように問いかけたところ、本当に多種多様な「触れる」をご紹介いただくことができました。●連載の岡田慎一郎先生の講習会参加者は「見て学ぼうとする派」と「やって(触って)学ぼうとする派」に二分されます。後者のほうが技術の習得が早いことは言わずもがなですが、何より、学んでいる姿が楽しそうに見えます。余談ですが、前者のタイプは老若の男性、後者のタイプは中高年女性が多いようです。【鳥居】

●弊誌9月号の特集「仕事熱心もいいけれど働きすぎは法律違反です!」について読者の方々から、たくさんのご意見をいただきました。取り上げた問題に共感するものからダメ出しまで賛否両論の意見を伺い、より広い視野をもって業務にあたらなければいけないと強く感じました。また、それと同じくらいに記事を読んでもらっていることを実感することができました。雑誌発行は発行側からの一方通行になりがちかと思いきや、そういったご意見をいただいたのでとても嬉しかったのです。いただいたご意見を日々の雑誌づくりに活かしていきたいと思えます。多くの方からのご意見をお待ちしております!【吉田】

看護学雑誌 第72巻第11号 2008年11月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%) 年ざめ予約購読料 13,200円(税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先/(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・Vol.70 No.10以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

『看護学雑誌』編集室(担当/白石・鳥居・吉田) TEL 03-3817-5772

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(TEL 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0386-9830/08/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。